

(第1号議案)

2015年事業報告及び収支決算について

1 事業の成果

2015年度は森林整備、棚田保全、立屋・番所のさくらを愛する会など地域に密着した里山保全活動を推進できました。また山仕事体験講座や間伐材の利用などを通じて、一般市民に森林への関心を高めることができました。特に薪利用者が多く森林資源の活用が促進されました。さらに小川小、松ヶ丘小、昭和小、古牧小、中条校の学校林活動や高原学校森林教室、みどりの少年団交流集会など児童・生徒への森林環境教育の普及拡大が図れました。

2 活動実績

(1) 山仕事体験講座（みんなの森づくり講座）

一般市民及びコープながの会員を対象に森づくりの実践体験と食文化を楽しんでもらうイベントを年間6回開催しました。オプションとして薪づくりが好評でした。

*実日数 6日（準備含む） *参加者120人＋スタッフ43人

(2) 小川村プロジェクト

ア 絆の森整備事業

地権者との協定書、境界確認、測量をして間伐 6ha を実施しました。

*実日数55日 *参加者242人

イ 多面的機能発揮対策事業

広葉樹の除伐を 2.5ha 実施しました。

*実日数6日 *参加者41人

ウ 立屋のさくら祭り、立屋・番所のさくらを愛する会

4月26日のさくら祭りで餅つき・クラフトを行い、草餅やクロモジ茶を提供しました。また立屋・番所のさくらを愛する会の活動で年2回ほど、草刈などの活動に参加しました。

*実日数3日 *参加者 21人（一般参加者除く）

エ 棚田保全活動

田起こし、草取り、脱穀などの作業を行ない、収穫したお米はイベントで活用したり、参加者に日当配布などに使用しました。

*収穫量 うるち米 150kg もち米 50kg

*実日数 23日 *参加者 51人

オ 遊休農地活用、ヤギプロジェクト

遊休農地に植樹した「棚田のさくら」の下刈を2回行いました。また畑の借用地にソバを播いて収穫しました。収穫したソバは望年会などで食しました。

遊休農地に柵を設けヤギを放牧するため、ヤギ小屋とお立ち台を作りました。

*実日数 3日 *参加者 16人

カ 間伐材の活用

緑の少年団交流集会、高原学校、森のクラフト教室などに間伐材を活用してクラフト材料を供給しました。また薪クラブや石窯、森もり館の薪ストーブなど燃料としても有効活用しています。

*薪クラブ活用 約 18 m³

(3) 学校林活動

ア 松ヶ丘小学校裏山プロジェクト

裏山の活動を毎月 1 回実施しました。低学年や親子の参加者が増え保護者の参加を広げることができました。

*実日数 9 日 *参加者 120 人+スタッフ 37 人

イ 学校林活動 (昭和小学校、古牧小学校)

学校林へ 5 年生児童が学校林の整備 (除伐、間伐、枝打ち) を実施しました。

*実日数 2 日 *参加者 9 人+児童 150 人

ウ 中条チャレンジの森活動

長野西高校中条校の学校林チャレンジの森として、整備体験活動を行政等と連携して年 2 回行いました。

*実日数 2 日 (準備含む) *参加者 150 人+スタッフ 2 人

エ 小川小学校裏山ランド整備

*実日数 4 日 *スタッフ 19 人

(4) 長野市立小学校の高原学校森林教室

5 月から 9 月まで飯綱高原アゼリアと長野市森林整備課との協働事業で、9 校の小学校の高原学校で森林教室を開催しました。

*実日数 10 日 (準備含む) *参加者 717 人+スタッフ 22 人

(5) みどりの少年団長野地区交流集会

7 月 30 日に小川村大洞高原で開催し、準備期間 (材料等の準備や現地地下見など) を含めると年度前半の大きな取り組みとなりました。

*実日数 9 日 (準備含む) *参加者 270 人+スタッフ 43 人

(6) 企業向け活動

・森の里親ユープながの主催 森のクラフト教室を 4 回開催しました。

*実日数 5 日 (準備含む) *参加者 70 人+スタッフ 19 人

(6) その他の活動

・信州環境フェアでクラフト教室 (8 月 22 日、23 日)

3 広報・表彰関係

(1) 広報誌「SFW通信」を毎月 1 回 (120 号~131 号) 発行。

(2) ホームページで活動日程のお知らせや活動報告などを随時掲載。

(3) メディア関係: 信毎新聞、長野市民新聞、SBC・ラジオ

活動実績集計

○ 年間活動日数: 105 日

○ 年間のべ参加人数: 2,162 人